



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 沢田 光 広
編集者 横内 俊 博
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2018.8.10 第1520号

拡大キャッチコピー 「新しい仲間づくりを 皆の力で」 「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入まっています」

青森支部組織対策会議

情報の共有化で一歩ずつ拡大を

「今こそ労組の必要性を訴えていく」

国労の最重要課題である「組織拡大」を、青森支部で実現させようと継続し開催してきた「組織対策会議」も16回目を迎えた。この間、平成採用者や新規採用者の加入を勝ち取るなどの成果は得てきたが、この2年間は「足踏み状態」が続いている。今春闘における混迷で多くの労組未加入者が誕生し、各職場では労働組合の組織構造が大きく変化している。会社として労組未加入者を軸とした職場管理を強めようとしている中、今日の職場状況をしっかりと把握し国労加入へと結び付けていくためにも、情報の共有化と職場での取り組みがより大切になっている。各職場の状況をお互いが理解しあい、できることを一つずつ確実に実行することで組織拡大に向け着実に前進しよう。

各職場で労組の組織構造が変化

新労組結成、労働組合不要論も

7月1日、青森県労働福祉会館で開催された会議には、青森支部内の各分会代表者と支部・地本役員22人が参加した。阿部支部委員長を座長



=22人の参加で開催された対策会議=

に選出し挨拶を受けた後、菊池地本書記長がこれまでの経過と今後の闘いについて「夏季手当は東日本が3回の交渉で回答。3・2ヵ月分を組合

阿部一男氏 (組織内候補) 2,537票獲得し当選
7月29日投票・花巻市議選挙
拳事務所
=当選し万歳で喜ぶ阿部一男氏=

要求とし、利益の社員還元を求めたが、2・91ヵ月分と昨年並みの回答。貨物は4回の交渉。3・0ヵ月分を掲げ8期連続赤字や2期連続の100億円以上の利益を還元すべきとして交渉を続けたが、1・65+0・08ヵ月(昨年比0・13増)の回答となった。業務関係では保険部門のメンテナンス体制最適化として派出所の廃止と支線のパートナー会社受持ちが行われ、また、被災線区でもある八戸線のワンマン運転も提案されている。支社の年齢構成を踏まえると5年で1,000人の減が見込まれる。国労は安全性の維持・向上を基本に労働条件改善等の交渉を続けるが、労組未加入では会社対個人にしかならないだけに、労組の必要性を訴えていく。労組未加入者の増加により「職場過半数代表者選挙」が多くの職場で行われた

が、3職場で国労組合員が代表者となった。代表とならなかった職場でも多くの社員から支持を受けることができた。職場での世話役活動、課題の改善に粘り強く取り組み、信頼関係を作り上げながら拡大へ結び付けていく」と提起した。

7月29日投票・花巻市議選挙
阿部一男氏 (組織内候補)
2,537票獲得し当選
拳事務所
=当選し万歳で喜ぶ阿部一男氏=

れほど悪くなく、これまでのような脱退者に対する対応は見られない。引き続き信頼関係構築に努力したい」「職場には、脱退したが他の労組へはいかない、組合は必要だと思おうので脱退はしない、などの声がある」「本体配属のエルダーを希望するが、会社からの返答がなかなか示されない」「7月1日に保線メンテナンスで野辺地派出が廃止に。体制移行が十分できるのか不安が大きい」「エルダー出向先の提示が遅く、退職月でとなっている。早めの提示を求める」「会社主催による歓迎会が開催され組合員も参加。今後も積極的に参加したい」などの報告が寄せられた。

交通の安全と労働を考える市民会議・生活交通をつくるいわての会・たきざわ政策セミナーの3団体が共催する「ライドシェアと生活交通を考えるシンポジウムinたきざわ」が7月28日、滝沢市の岩手県立大学共通講義棟101講義室で開催され、労働団体・市民ら102人が参加した。

交通の安全と労働を考える市民会議・生活交通をつくるいわての会・たきざわ政策セミナーの3団体が共催する「ライドシェアと生活交通を考えるシンポジウムinたきざわ」が7月28日、滝沢市の岩手県立大学共通講義棟101講義室で開催され、労働団体・市民ら102人が参加した。

国民の命・安全を守ろう
ライドシェアと生活交通を考える
シンポジウムinたきざわ

- 当面の主な日程
8月24・25日(東京) 第32回東日本本部定期大会
8月29日(盛岡) 第11回地方本部執行委員会
8月29日 北上・盛岡地区集会
8月30日 野辺地・盛岡・一関地集会
9月8日(盛岡) 佐高信文化塾②
9月10日(宇都宮) 第6回東日本本部ゴルフ1ナメント
9月15・16日(雫石) 第12回地方本部組織拡大対策会議(15日、第12回地方本部執行委員会)
10月6日(盛岡) 第74回定期地方大会
10月21日(盛岡) 第6回地方本部ボウリング大会

2,537票を獲得、第2位で阿部一男氏(組織内候補)が7月29日投票で施行された花巻市議会議員選挙(定数26)で連続11期目(広域合併後は5期目)の当選を果たした。同選挙には、定数26に対し28人が立候補する少数激戦、厳しい戦いとなったが、花巻地方労センタ加入の労働組合や支援者、支持者の取り組みで前回獲得票に410票を積み上げ見事な当選となった。阿部氏は今後、「だれでもが安心して暮らせる花巻」を中心とする公約の実現に向けて議員活動を進めていくこととしている。



「ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士」

ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士
ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士
ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士

開会挨拶で石橋乙秀弁護士は、「今やライドシェアはUber(ウーバー)等の専門

「ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士」
ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士
ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士

「ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士」
ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士
ライドシェアの問題点を訴える石橋乙秀弁護士

アプリが利用できる時代になり、労働者概念が無くなる危機である。国民の命・安全を守るためライドシェアに反対しよう」と訴えた。次に、交通の安全と労働を考える市民会議を代表し、山口広弁護士が「アメリカではUberの登録が10万人を超えた。このままでは、タクシードライバーの優待がなくなり、ライバーがなくなる」と危惧した。

続いて、市民会議呼びかけ人・代表世話人であり首都大学東京特任教授の戸崎肇さんが、「ライドシェアの問題点」と題し講演を行った。戸崎さんは、「地域のバスは線路図と料金に分りづらい」とした上で、運賃の支払いについて「鉄道のように共通したICカードがあればバス会社が違っても利用しやすいのでは」と提言した。

たきざわ政策セミナーアドバイザーの主浜了さんからは滝沢氏が抱える公共交通の課題と将来像についての提起が行われ終了した。「移動権」や「生存権」を支える公共交通のあり方について、労働組合としてしっかりと関わり声を上げることが必要である。

「勝因は選手一人ひとりだが、目標をしっかりと持って、試合に挑めたのが大きかった」高校野球の連合チーム監督の勝利後の談話である。高校野球界では、少子化に加えて高球生の野球離れの傾向が表れ、今年全国の参加校は、昨年より58校減り、3781校。15年連続で減少しているという。その結果、部員不足で、県予選に出られない高校があり、その打開策として、2012年に連合チームの参戦条件を緩和した。以降連合チームの数は、全国的に増え、今年には昨年より25チーム増の過去最多の88チームとなった。この連合チームならではの苦も絶えないという。練習は、土日が中心で、ナイフが集合するのものと苦。併殺プレイなどの連係が上手いはず、チーム内では不満が爆発することもあると聞く。しかし、選手たちは、「試合ができる。甲子園出場を目指す。スターラインに立てる」という喜びを噛み締め、「勝利して母校の校歌を歌う」ことを目標に、困難な中でもきつ練習に励んでいる。その結果、今年岩手・青森の両県で連合チームが、それぞれ勝利した。選手たちの目標をもって全員一丸となって対戦相手に挑む姿勢に敬意を表したい。国労の組織も各職場に数名となり、連合チームとなっている分会が多い。人が集まらないと言っている。人が集まらないと言っている。人が集まらないと言っている。

たきざわ政策セミナーアドバイザーの主浜了さんからは滝沢氏が抱える公共交通の課題と将来像についての提起が行われ終了した。「移動権」や「生存権」を支える公共交通のあり方について、労働組合としてしっかりと関わり声を上げることが必要である。

たきざわ政策セミナーアドバイザーの主浜了さんからは滝沢氏が抱える公共交通の課題と将来像についての提起が行われ終了した。「移動権」や「生存権」を支える公共交通のあり方について、労働組合としてしっかりと関わり声を上げることが必要である。

たきざわ政策セミナーアドバイザーの主浜了さんからは滝沢氏が抱える公共交通の課題と将来像についての提起が行われ終了した。「移動権」や「生存権」を支える公共交通のあり方について、労働組合としてしっかりと関わり声を上げることが必要である。

たきざわ政策セミナーアドバイザーの主浜了さんからは滝沢氏が抱える公共交通の課題と将来像についての提起が行われ終了した。「移動権」や「生存権」を支える公共交通のあり方について、労働組合としてしっかりと関わり声を上げることが必要である。

第87回定期全国大会

全国の組織拡大の闘いを学びあい 国労への加入を呼びかけよう

第87回定期全国大会が7月25・26日に伊東市で開催されました。大会議長に盛岡地方本部選出の阿部一久代議員が選出され進められ、経過において4人、方針で14人の代議員から発言がありました。

盛岡からは経過で及川孝代議員が18春闘の闘い、地方交通線を守る闘い、東労組互解

後の職場における組織拡大の取り組みを発言。方針では菊池要悦代議員が組織強化拡大、国労組織と運動の継承、地方交通線問題、そして政治闘争について発言しました。

全国の代議員からはこの一年間の国労関係の課題である組織拡大をはじめとする闘いが報告されました。特筆すべ

きは北海道と四国、そして九州における平成採用者の国労加入の報告でした。

北海道からは「国労に加入してもいいけれども一人二人では難しい」といわれた。私達もこの言葉を正面から受け止めて、職場にいる未加入者に対して国労加入を呼びかけていきたいと思います。

前日の「国労会館労働講座」では、宮里弁護士から「働き方改革関連法と労働契約法20条をめぐる最高裁判決」と題し、時間外労働の上限時間を労働基準法に明文文化し違反に対して罰則を科すことは評価できるが問題点は上限が過労死ラインまでの残業を容認した点である」と報告され、今後は13項目の付帯決議を履行させることが重要になると講演を受けました。

東日本大震災による大津波で福島第一原発事故が発生し、7年余が経過している。2年後に「東京オリンピック・パラリンピック」が予定されている中で、原発事故の報道は年々少なくなってきた。しかし、事故収束・廃炉の目途は全く立っていないのが現状である。安倍首相の言う「コントロールされている」とは、オリンピック・パラリンピックを誘致するための詭弁でしかない。

こうした中で、原水禁世界大会「福島大会」が7月28日、福島市の福島教育会館で開催され、全国各地から640人が結集した。平和環境岩手県センターからは17人が参加した。(国労は盛岡地区協・折戸俊幸書記長と地方本部・菊池要悦の2人)

笑みから始まる」とのマザーテレサの言葉を紹介し、非核と平和の大切さの訴えがあった。

第1分科会では「放射能被爆と健康・心のケア」をテーマに討議が行われ、「浪江町独自で放射線健康管理手帳を作製したが、本来は国の責任でなすべきもの。18歳以上の検診率が26%から16%へ低下。風化が懸念される」と実態が報告された。

モニタリングポスト撤去など「事故など無かったものにしてしまう」する動きは強まっている。私たちは事故を風化させてはならない。これからのエネルギー政策がどうあるべきなのか真剣に検討しなければならぬ。そうした思いを強くした大会であった。



＝盛岡の取り組みを発言する及川孝代議員＝

一般的だったとか。それでも電務区や病院などに働く女性は多くいたそうです。国労発足から2、3年後には婦人部として活動開始。働きやすい職場にしていくのが組合です。

この先女性採用者も増え様々な職場での活躍が期待される一方、女性特有の問題も出てくると思います。困った時は一人で悩まず、国労へ相談して下さい。仕事も組合も熟知している国労は頼りになりますよ。と自信を持って言えるのも信頼できる国労の仲間がいたからです。

安全・安定輸送の確立③2019年春闘④来年の統一自治体選挙参議院選挙をはじめとする政治闘争の強化が全体で確認され、向こう一年間目的色を変え組織拡大に取り組みようとの言葉で菊池委員長の話がガンバローで散会しました。私たちに残された時間は多くはありません。大会では国労加入した若い女性組合員からの言葉として「もう5年かないんじゃないか、まだ5年もある。本気で頑張らなければ」との言葉に元気づけられたとの報告もありました。私達もこの言葉を正面から受け止めて、職場にいる未加入者に対して国労加入を呼びかけていきたいと思います。

盛岡支部 佐々木研司

われらがまま組合に加入してしました。その後、オルグ等を経験し組合という組織を少しずつ学んできました。国鉄分割民営化の時は失業するのではなかったのか。それでも電務区や病院などに働く女性は多くいたそうです。国労発足から2、3年後には婦人部として活動開始。働きやすい職場にしていくのが組合です。

盛岡地区協ボウリング大会

盛岡地区協ボウリング大会が7月7日に、盛岡駅西口のラウンドワンで開催されました。1チーム4人編成で9チーム36人が参加しました。大会は10月21日開催の地方本部の第6回ボウリング大会の盛岡地区予選(盛岡地区協から3チーム)を兼ねるものです。

盛岡地区協ボウリング大会

盛岡地区協ボウリング大会が7月7日に、盛岡駅西口のラウンドワンで開催されました。1チーム4人編成で9チーム36人が参加しました。大会は10月21日開催の地方本部の第6回ボウリング大会の盛岡地区予選(盛岡地区協から3チーム)を兼ねるものです。

盛岡地区協ボウリング大会

盛岡地区協ボウリング大会が7月7日に、盛岡駅西口のラウンドワンで開催されました。1チーム4人編成で9チーム36人が参加しました。大会は10月21日開催の地方本部の第6回ボウリング大会の盛岡地区予選(盛岡地区協から3チーム)を兼ねるものです。

盛岡地区協ボウリング大会

盛岡地区協ボウリング大会が7月7日に、盛岡駅西口のラウンドワンで開催されました。1チーム4人編成で9チーム36人が参加しました。大会は10月21日開催の地方本部の第6回ボウリング大会の盛岡地区予選(盛岡地区協から3チーム)を兼ねるものです。

東日本本部女性部交流会

国労女性部の取り組みなどで意見交換

7月8日、新橋TKPに於いて東日本本部女性部学習交流会が開催され、盛岡からは小野寺京子と私佐々木智子が参加しました。例年「明るく元気に学習交流会」と題し泊二日で開催してきましたが、今回は日帰りで開催となりました。参加者は7人と少数でしたが、今後の女性部のあり方について話し合いました。

東日本本部の武田組織部長から情勢等について報告を受け、午後からは女性だけで忌憚のない意見交換が始まり、女性の歴史について至極感銘を

争で戦地に男性が行っている間、機関車の運転も女性が行っていたというのです。男性が戦争から帰ってくると女性が結婚し仕事を辞めるのが一

地方本部女性部長 佐々木 智子

争で戦地に男性が行っている間、機関車の運転も女性が行っていたというのです。男性が戦争から帰ってくると女性が結婚し仕事を辞めるのが一

地方本部女性部長 佐々木 智子

争で戦地に男性が行っている間、機関車の運転も女性が行っていたというのです。男性が戦争から帰ってくると女性が結婚し仕事を辞めるのが一

地方本部女性部長 佐々木 智子

争で戦地に男性が行っている間、機関車の運転も女性が行っていたというのです。男性が戦争から帰ってくると女性が結婚し仕事を辞めるのが一

地方本部女性部長 佐々木 智子

争で戦地に男性が行っている間、機関車の運転も女性が行っていたというのです。男性が戦争から帰ってくると女性が結婚し仕事を辞めるのが一

地方本部女性部長 佐々木 智子

争で戦地に男性が行っている間、機関車の運転も女性が行っていたというのです。男性が戦争から帰ってくると女性が結婚し仕事を辞めるのが一

地方本部女性部長 佐々木 智子

争で戦地に男性が行っている間、機関車の運転も女性が行っていたというのです。男性が戦争から帰ってくると女性が結婚し仕事を辞めるのが一

地方本部女性部長 佐々木 智子

争で戦地に男性が行っている間、機関車の運転も女性が行っていたというのです。男性が戦争から帰ってくると女性が結婚し仕事を辞めるのが一

地本互助会だより

万が一にそなえよう 自分と家族のために 期末手当加給付制度

期末手当加給付制度

互助会の「期末手当加給付制度」は、病気の欠勤で期末手当に期間率が適用となつて減額された組合員の生活保障をするための制度です。

2002年の制度発足以来現在146名の方が加入。給付件数は135件。給付金も1,390万円ほど支払いを受けております。

給付を受けられた組合員からは「付加給付制度」に加入をしていて本当に良かったと声を大にして喜ばれ、互助会として生活保障の一躍を担うことができました。是非、この機会に、もう一度身の回りを考え、今制度に加入されようご案内致します。

今回の募集は、2018年10月期加入となります。掛金は、2018年10月から徴収し、給付発生は、来年の夏季手当減額分となります。

それ以降の加入時期は、

9月15日迄に手続きを

「期末手当加給付」の加入資格は、現行互助会に加入されている組合員となりますので、互助会未加入者で「期末手当加給付制度」の加入を希望の方は互助会加入の手続きが必要となります。

「互助会」及び「期末手当加給付制度」の加入手続きは、9月15日まで分会担当者または、互助会事務局へ直接電話で加入の申込みして下さい。

10月期加入・増口案内

期末手当加給付制度

- 〈掛金徴収〉
 - ・2018年10月から
- 〈給付発生〉
 - ・2019年夏季手当減額分から
- 〈期間率調査期間〉
 - ・2018年10月1日～2019年3月31日
- 〈問い合わせ先〉 担当・村上真一(まで) (毎週・木曜日勤務)
 - TEL (JR) 033-2276
 - TEL (NTT) 019-652-4841